

松江市立天文台 ～8月の天文教室～

2013年8月7日

夕暮れ時、西の空には、金星＝宵の明星が輝きながら沈んでいきます。今夜7日は新月のため月は見えませんが、そんなときこそ星空をながめてみてください。たくさんの星達が見えてきます。

東の空には、こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブからなる「夏の大三角」が、南の空にはさそり座やいて座が夏の夜空を飾ります。

8月の星空



8月下旬の午後8時頃の星空です。土星は8月7日の位置を表示していますが、見かけの大きさは実際とは違います。

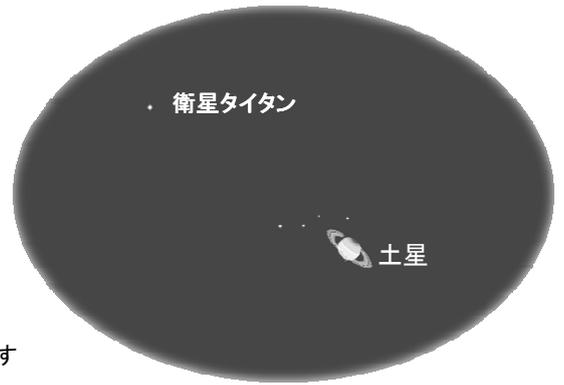
月は新月で太陽に近いので、見ることはできません。実際の空を見ながら星を探すときは見る方角を下の方にあわせませす。

★土星

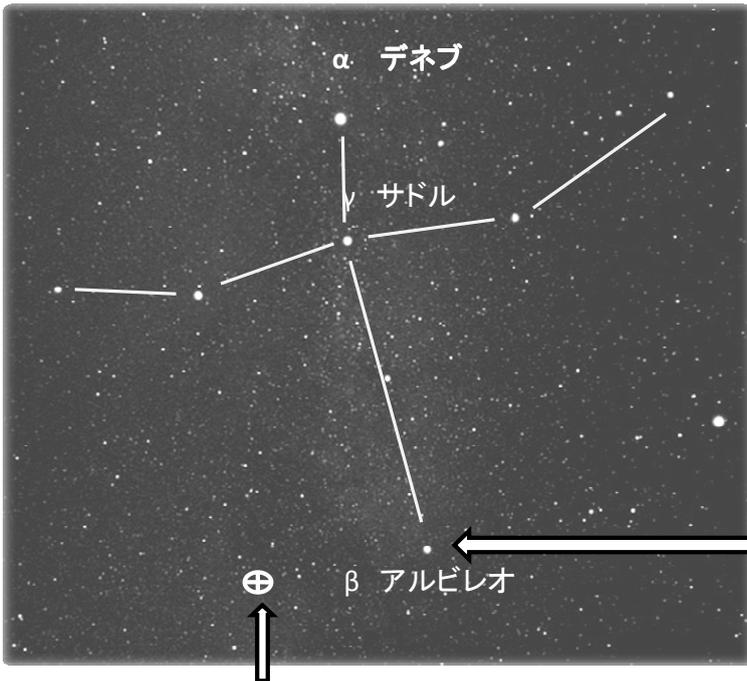
土星は私たちの地球と同じく、太陽を回る惑星の仲間、「輪のある星」として人気の天体です。

太陽系では2番目に大きな惑星で、その直径は地球の約9.5倍もあります。

土星のみかけの位置は徐々に太陽に近づいているので、観望期も今月までです。



小型天体望遠鏡で見た土星のイメージ
実際に見ると上下左右がさかさまに見えます



あれい星雲 M27

はくちょう座のとなりの、こぎつね座という目立たない星座のある星雲です。鉄アレイのような形に見えるのでこの名があります。



★はくちょう座

大神ゼウスはスパルタのレーダ王妃に一目ぼれし、白鳥に姿を変えて彼女のもとへ舞い降りました。レーダはそれがゼウスとは知らず白鳥を抱きしめました。後にレーダは2つの卵を産み、1つの卵からは双子のカストルとポルックスが、もう1つの卵からは美女ヘレネとクリュタイムネストラが生まれました。はくちょう座は白鳥に姿を変えたゼウスの姿です。

南十字星の対して、北十字とも呼ばれます。

アルビレオ

はくちょう座のβ星アルビレオは肉眼では一つの星ですが、天体望遠鏡で見ると、オレンジとブルーサファイアの2つの星であることがわかります。

星の色の対比、美しさから空の宝石と表現されることもあります。

8月12日の空に注目!!

8月12日(月)は2つの天文イベントがあります。

スピカ食

午後7時20分頃、まだ薄明の残る西の空で、おとめ座の1等星スピカが月から現れるのが見られます。双眼鏡があれば充分楽しめます。

ペルセウス流星群

8月11日から14日にかけての夜空には、沢山の流れ星が見られます。

ペルセウス流星群です。

なかでも8月12日の夜は、一番のピークになりそうです。月が沈む午後10時過ぎから、寝ころんで空をながめると、1時間に数十個の流れ星が見られるかもしれません。

望遠鏡も必要ないので、初心者にもオススメです。



月から出現するスピカ



次回の天文教室は

9月11日(水) 20時から21時(受付19時30分から)